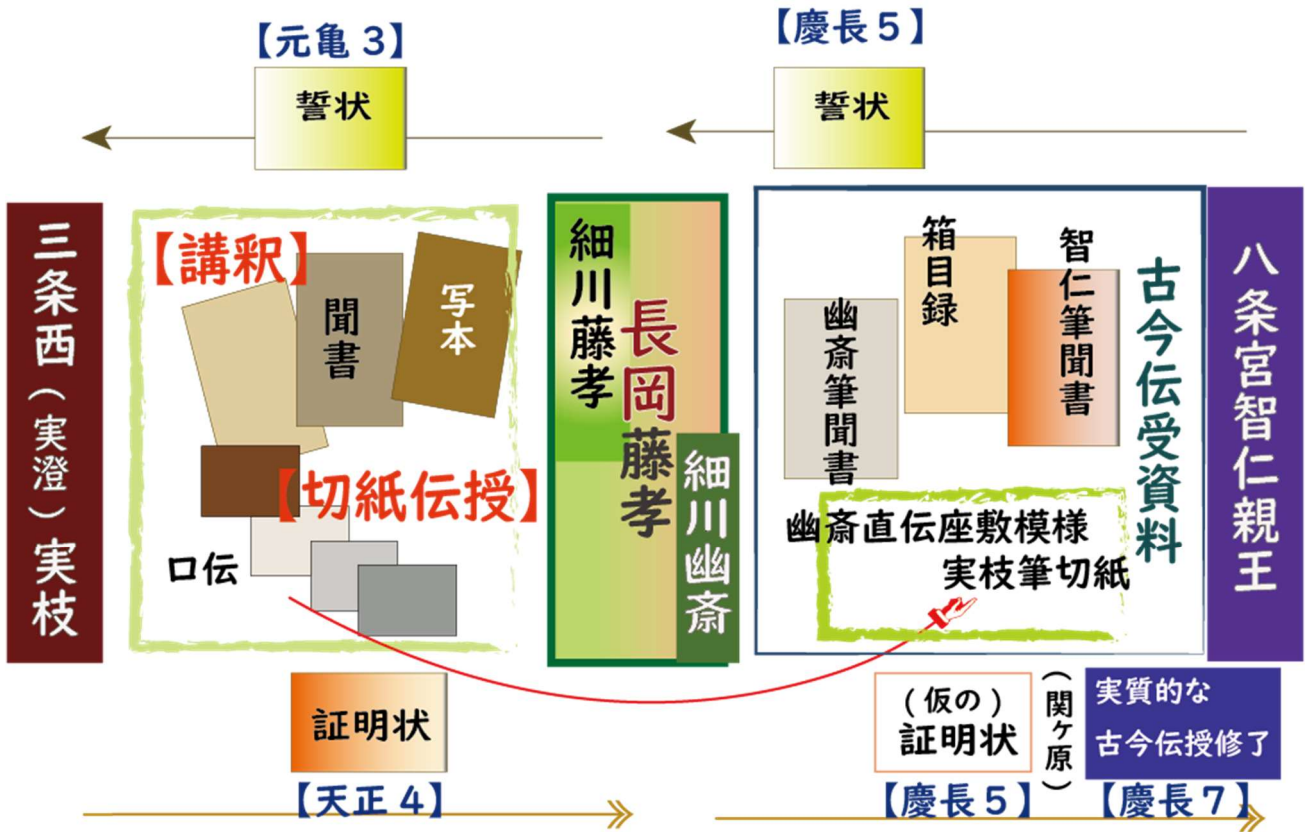


古今伝授

「古今和歌集」(醍醐天皇勅命、延喜5年奏上)の解釈を、師匠から弟子へ秘伝の形で伝えること。弟子は他言しないとの誓状を提出し、講釈→聞書(講義ノート)→加判奥書→秘伝の口授→切紙授受を経て、証明書が渡された。授ける側からは「伝授」、受ける側からは「伝受」となるが、さまざまな場合がある。宮内庁書陵部伝来の八条宮家関連一式は「伝受」が用いられているが、一般的には「伝授」と表記される。



「御所伝授」系統図

